

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	リトルジェム2nd				公表日	2026年 3月 30日	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	0	・活動内容によっては狭さを感じることもあるかもしれないが、戸外活動を取り入れる等して補っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	3		・職員の欠勤や訪問などで職員の手が足りない日もある。その日の利用する子どもによってマンツーマンでついた方がいい場面も多いため、職員にもう少しゆとりがあるといい。 ・保育所等訪問を実施するようになり、支援に入る先生の数が少なくなった。 ・保育所等訪問の職員を除くと、実際子どもを見る職員が少ない。 ・訪問や職員の休みが重なった場合が子どもにつく職員が足りていないことがある。 ・利用定員に対しては適切であると考えますが、曜日による子どもの状態によっては適切とはいえない。訪問後に児発に入る為、訪問の報告書が書けない時も多々ある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	0	・場面に応じた環境調整を、適宜行っている。	・運動遊びや走っているときは危なっかしい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	0	・毎朝清掃をし、清潔に保てるように努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	0	・個別の部屋はない為、パーティション等で区切るなどの環境調整を行っている。 ・必要に応じてカムダウンルームを促したり、パーティションで区切られた空間を使用したりしている。	
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	0	・毎朝の朝礼で振り返りの機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0	・評価表は結果をホームページで公表しており、いただいた意見は職員間でも共有し、改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0	・朝礼で出た意見を記録するようになってから、より共有ができるようになったと感じる。 ・朝礼や支援会議以外にも、こまめに情報共有するよう心掛けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	0	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	0	・児発管が参加する研修はよくあるため、研修内容は職員にも共有している。	・年1回でもいいので、専門的な内容についての研修に全ての従業員が参加できる機会があると良い。 ・研修や勉強会にはもっと参加したい。 ・全くないこともないが、年に1回程度なので、あと1回ほど増やしてほしい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	0	・支援プログラムは公表され、プログラムに応じた活動が行われている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	0	・定期的に面談をし、丁寧にアセスメントを行った上で個別支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	0	・毎日の朝礼や定期的なケース会議、「できていること」「課題点」などを出し合うふせん会議などを行い、指導員のそれぞれの意見を聞いてもらっている。 ・共通理解ができる場を定期的に設けている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	0	・個別支援計画の更新ごとに支援会議で共有し、計画に沿った活動を個々に提供している。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	0	・モニタリングの際にTASPを利用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	0	・個別支援計画に、全ての項目について詳しく記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	1	・作成は個人で行うが、職員の様々な意見は取り入れてもらっている。 ・全職員が立案できる環境作りを行い、活動にも反映させている。	・今でも行っているが、必要な課題がみえて共有してもらおうと早めに活動予定に組み込める。 ・活動の計画やその他の準備等、ほぼ一人でやっているため、仕事量が多い。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	0	・子どもに応じた活動プログラムが組まれている。	・工夫はしているが、午前がサーキットにかたよりがちなので考えていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	0	・個別での活動も集団での活動も経験できるように、計画にも組み込んである。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	0	・活動内容の打ち合わせは行われている。 ・その日の活動内容は朝礼で確認が行われている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	0	・翌朝に行っている。 ・その都度、子どもの様子を話したり気になった点は、質問したりできている。 ・その日の気付きなどは打ち合わせという形ではなく、職員間で伝えたり、メモ書きに残すようにしている。 ・支援終了後は時間が合わないで、翌朝に共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	0	・サービス提供記録を全職員いつでも見やすいようにしており、支援に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	0	・最低でも半年に1回モニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	0	・基本的に児発管が参加するが、職員の意見も取りまとめて伝えている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	1	・必要に応じて連携を行い、支援に繋げている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	0	・情報提供書を作成し、関係機関に提供している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	0	・別紙でより細かく就学支援の内容が書かれているので、学校側もよく理解できると思う。 ・学校見学に同行したり、就学支援シートを提供したりし、情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	1	・必要な際は助言をいただいている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	1	6		・保育所等との関わりはないが、公園や図書館など地域で関わることはある。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	0	・毎日のサービス提供記録に加え、電話やHUGのメッセージ、面談等で伝え合っている。		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	1	・ペアレントトレーニングは行っていないが、保護者会は毎年行っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	0	・契約時に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	0	・保護者の意向も必ず確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	0	・更新ごとに説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	0	・定期的な面談に加え、保護者の要望があるときや必要に応じて、モニターで子どもを観察しながら助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	0	・兄弟児も参加できる交流の場が年に数回ある。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	0	・電話やメール、面談などで迅速に対応しよう心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	0		・活動記録やSNSでの発信はしているが、もう少し頻度を高めたいと感じる。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	0		・地域住民を招待する機会がない。 ・地域の行事に参加させていただくことはあるが、頻度としてはかなり少ない。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	0	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	0	・各種マニュアルやフローチャートに基づいた避難訓練を定期的に行っている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	0	・定期的に訓練を行っており、多くの子どもが参加できるように曜日をずらして行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	0	・予防接種については確認していないが、てんかんの有無は契約時に確認し、服薬状況については適宜確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	0	・除去が必要な子どもに関しては指示書をいただき、食事の際はテーブルを分けて対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	1		・職員間での情報共有はできているが、研修の機会は少ない。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	1	・避難訓練を行った際には、HUGの活動記録でお知らせしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	0		・共有はその都度行い、再発防止についての情報共有も行っているが、書面に残せていないものもある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	0	・年に1回、全職員が虐待防止に関する研修を受けている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	1	・必要な場合は保護者の了承を得た上で、個別支援計画に記載している。		